

実施計画兼評価シート(令和元年度事業分)

事業No.46

【計画ベース】

◎基本情報

事業区分	継続	事務事業名	資源ごみ対策事業	担当部署	市民環境部 クリーンセンター廃棄物対策課	
総合計画体系				根拠法令 計画など	鳴門市資源ごみ回収事業報奨金交付要綱	
基本政策(大項目)	3	しっかり安心・快適住み良いまちづくり		事業期間	開始	平成 <input type="text" value=""/> 5 年度
政策(中項目)	2	快適に暮らせるまち なんと			終期	<input type="text" value="未定"/>
(小項目)		ごみ処理				
施策	6	自然と共生できる循環型社会づくりの推進				
基本事業	1	循環型社会形成への取り組み				
<input checked="" type="checkbox"/> 第六次総合計画後期基本計画の成長戦略に該当の有無 <input type="checkbox"/> 次期総合戦略掲載予定の有無 <input type="checkbox"/> SRP2020該当の有無						
<input type="checkbox"/> ふるさと納税寄附金等要求 <input type="checkbox"/> ポートレース鳴門まちづくり基金活用予算要求						

◎事業概要(PLAN)

目的	①資源ごみ回収団体に対する支援 ②市民の廃棄物に対する意識の高揚		事業内容 (R1)	1. 資源ごみの集団回収を実施している団体へ回収実績に応じた報奨金の交付 2. 資源ごみ回収に係る周知及び促進 ①資源ごみ回収制度の周知徹底 ②資源ごみ回収団体への支援及び新設に係る周知 ③資源ごみ回収業者に指定品目の回収処分を委託				
実施方針	1. 資源ごみ回収団体へ報奨金を交付する。 2. 資源ごみ回収制度の周知及び資源の有効化とリサイクルの促進を図る			当初からの 変更点				
指標名			平成29年度実績	平成30年度実績見込	令和元年度目標	令和2年度目標	令和3年度目標	単位
活動指標 <small>実施した事業の活動量を示す指標</small>	1	資源ごみ回収団体回収量	1,714	1,669	1,815	1,804	1,795	t
	2							
成果指標 <small>対象にどのような効果があったかを示す指標</small>	指標名		平成29年度実績	平成30年度実績見込	令和元年度目標	令和2年度目標	令和3年度目標	単位
	資源ごみ回収団体数		195	196	197	198	198	団体

事業の実施内容推移	年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度
	各年度の実施(予定)内容	①資源ごみ回収報奨金 ②資源ごみ回収団体への支援・新設 ③資源ごみ回収業者委託	継続	継続	継続	継続
事業費推移 (千円)	年度	令和元年度			令和2年度	令和3年度
		当初予算額	補正予算額・繰越額等	全体予算額		
	計	11,996	0	11,996	11,590	11,590

事務事業名	資源ごみ対策事業
-------	----------

【実績ベース】

◎実施結果(DO)

事業実施内容	令和元年度実施内容		資源ごみ回収団体に対し、指定品目(新聞・雑誌・ダンボール・雑がみ・スチール缶・アルミ缶・古布類)の回収量に応じた報奨金(1kgあたり5円)を交付するとともに、雑がみ回収促進や啓発を図るため、雑がみ回収専用手提げ袋と、缶類の回収に必要なビニール袋を提供した。 また、資源ごみ回収業者に指定品目の回収処分を委託した。					
	指標名		平成30年度実績	令和元年度実績	令和2年度目標	令和3年度目標	令和4年度目標	単位
活動指標 実施した事業の活動量を示す指標	1	資源ごみ回収団体回収量	1,669	1,569	1,815	1,804	1,795	t
	2							
成果指標 対象にどのような効果があったか示す指標	資源ごみ回収団体数		196	197	—	—	—	団体
	目標達成率(実績/目標)			100.0				%
事業費推移 (円)	年度		平成30年度決算	令和元年度決算				
				前年度からの繰越決算額	決算額	令和2年度への繰越額	最終事業費	
	計		10,395,408	0	9,819,186	0	9,819,186	
	財源内訳	国庫支出金	0	0	0	0	0	
		県支出金	0	0	0	0	0	
		地方債	0	0	0	0	0	
		使用料・手数料	0	0	0	0	0	
		その他	10,395,408	0	9,819,186	0	9,819,186	
一般財源		0	0	0	0	0		

◎評価(CHECK)

今年度の進捗状況		計画どおり		事業全体の進捗状況		計画どおり	
成果指標に対する評価	指標名	資源ごみ回収団体数		成果指標に対する所見	広報等で周知を図り、1団体の新規結成に至った。		
	目標	197	団体				
	実績	197	団体				
	評価	A:目標を達成できた					

◎今後の方向性(ACTION)

課題	本事業を進めることで、資源の有効活用はもとより、ごみ減量化によるごみ処理経費の削減やごみ処理施設への負担軽減等様々な効果が期待されることから、今後も引き続き取り組みは必要だと考えられる。 今後の課題としては、資源ごみ回収量が近年減少傾向にあることから、資源ごみ回収団体や市民の意見を取り入れながら、継続して制度の周知、資源ごみ回収団体へのきめ細やかな支援策を検討していく必要がある。				
今後の方向性	1.廃止	2.要改善	3.現状維持	4.拡充	3
↓今後の方向性を踏まえた上で、以下の欄に記入してください。					
実施内容	令和2年度	引き続き、資源ごみ回収制度の周知を図るとともに、各団体の抱える課題や問題の解決に向け個別に支援していく。 また、資源ごみ回収団体の新設に努める。			
	令和3年度	同上			